

予感 研究所3

アート+テクノロジー+エンタテインメント=?!

主催:独立行政法人 科学技術振興機構「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」研究領域 共催:日本科学未来館

問い合わせ先:「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」研究領域 TEL 03-5805-1081

<http://www.media.jst.go.jp/>

あなたの予感 研究者の予感

フ
ム
フ
ム。

会期=2010年5月1日[土]→5日[水]

会場=日本科学未来館(東京・お台場)

開館時間=10:00-18:00 会期中無休

入場無料(ただし、常設展示および特別企画展は別料金となります)



科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

あなたの「予感」を見せて!

「こんなことができたらなあ」、「こんなものがあったら楽しいのに…」、そんな誰もが考える空想を「もしかしたらできちゃうかも?!」とマジメに取り組む研究者たちの秘密基地、そこが予感研究所(略称:予感研)です。予感研では、研究者たちが、「こんなのがあったら」を実現するために必要なアートとテクノロジーの研究を続けています。

今回は、あなたの予感と研究者の予感をお互いに見せっこできるしきけを用意して、あなたの参加をお待ちしています。ここから新しい研究が始まるかも…だからぜひ、あなたの予感を見せてください!

Touch the Small World 安藤英由樹

小さなパネルの下には小さな世界があり、その世界の住人とふれあうことができます。そして、その住人が生活している世界にある、ざらざら、でこぼこといったモノを指先で感じ取ることができます。



これまでの予感研の資料や映像が見られる休憩&交流スペース。研究者たちが自分自身の予感について掘り下げる、一風変わったプレゼンも毎日開催!あなたの中にはどんな予感が生まれるかな?

予感研究所3

アート+テクノロジー+エンタテインメント=?!

企画・制作:media exprim o (須永チーム)

ここは予感研3で起こる様々な出来事を映し出す鏡。あなたと研究者のやりとりやワークショップのようですが、その場でどんどん描き出されていきます。自分はこんな風に見ていたのか!他の人はこんな体験をしたんだ!?…眺めることで、きっと新たな発見や感動があるはず。



予感 ウォール

Virtual Shado w Puppet 渡辺チーム

ボクがうごくと影がうごく。ボクの影にくついて、影絵人形もうごきはじめる。ジャワの影絵「ワヤン・クリ」の世界とつながったボクは、どんな物語をつくりはじめるんだろう?



予感なりきり 研究室



予感ひょうげん 研究室

Mov Touch 片寄チーム

誰でも手軽に"VJ"気分を味わえるソフト。iPod Touchをグリグリなぞって・ブルブル振って、自分好みに動画を演出してみよう!

※iPod Touchは、Apple Inc.の商標です。



体験型料理シミュレータ 長谷川晶一

何も入っていないフライパンのぞくと、生の食材が見えます。食材内部の温度や焼け具合など、調理状態を確認しながら、フライパンを振ったり、食材を裏返したりして料理を作ります。おいしそうにできるかな?

他にもたくさんの面白い研究が展示されます。

関連イベント

研究者プレゼンテーション、スケッチワークショップなどを連日開催!
詳細は<http://www.media.jst.go.jp/>をご覧ください。

「予感研究所」の作品は、「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」研究領域（研究総括：原島博東大名誉教授）を中心とする研究プロジェクトの中で育まれてきました。

デジタル技術を使った映画、アニメーション、音楽、ゲームなどのメディア芸術において、作品の制作を支援する新しい手法や表現するための基盤技術を創出することがこのプロジェクトの狙いで、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が戦略的創造研究推進事業として進めているものです。

3回目となる今回は、科学技術振興機構における関連する研究プロジェクトと連携して開催することになりました。科学者とアーティストたちが、領域をこえて研究・意見交換してきた成果を「予感研究所3」として発表致します。来場者の方々と研究者の間の、より密接な交流の場となることを期待しています。

主な参加研究者

CREST「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」岩田洋夫(筑波大学大学院システム情報工学科教授)、片寄晴弘(関西学院大学理工学部教授)、田村秀行(立命館大学情報理工学部教授)、松原仁(公立はこだて未来大学システム情報科学部教授)、斎藤英雄(慶應義塾大学理工学部教授)、須永剛司(多摩美術大学情報デザイン学科教授)、渡辺富夫(岡山県立大学情報工学部教授)、橋本典久(武蔵野美術大学映像学科非常勤講師)、長谷川晶一(電気通信大学電気通信学部准教授)ほか

CREST「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」相澤清晴(東京大学大学院情報学環教授)、小池康晴(東京工業大学精密工学研究所教授)、舘暉(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)ほか

ERATO「合原複雑数理モデルプロジェクト」合原一幸(東京大学生産技術研究所教授)ほか

ERATO「五十嵐デザインインタフェースプロジェクト」五十嵐健夫(東京大学大学院情報理工学系研究科准教授)ほか

 **Miraikan**

科学が
わかる
世界が
わかる

日本科学未来館〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3番6号

Tel 03-3570-9151 Fax 03-3570-9150

URL <http://www.miraikan.jst.go.jp/>

National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan)

2-3-6 Aomi, Koto-ku, Tokyo 135-0064, Japan

Tel +81-3-3570-9151 Fax +81-3-3570-9150

- 新交通ゆりかもめ(新橋駅～豊洲駅)
「船の科学館駅」下車、徒歩約5分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線(新木場駅～大崎駅)
「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分
- 都営バス「日本科学未来館前」下車、徒歩約1分
- Tokyo Waterfront New Transit Yurikamome (Shimbashi→Toysosu)
5 minutes walk from "Funeno-Kagakukan station"
4 minutes walk from "Telecom Center station"
- Tokyo Waterfront area Rapid Transit Rinkai Line (Shin-kiba-Ohsaki)
15 minutes walk from "Tokyo Teleport station"
- Tokyo Metropolitan (Toei) bus
1 minute walk from "Nippon Kagaku Miraikan Mae"

